

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

石岡市 解答と解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	気象庁地磁気観測所では、100年以上も地磁気を観測、調査し続けています。	4
2	西洋風の装飾を施した建物を看板建築といいます。国府にある「喫茶店四季」「森戸文四郎(もりと ぶんしろう)商店」「すがや化粧品店」「十七屋履物店」「久松商店」「平松理容店」などが代表例です。	1
3	茨城県立図書館ができる14年も前、1947年(明治22年)9月9日、石岡尋常高等小学校内に町民の寄付で設立された関東初の図書館が、石岡市立中央図書館の前身「石岡書籍館(いしおかしょじやくかん)」でした。	3
4	人口増加に伴う米価の高騰を背景とする食料増産の声が高まり、高浜の醤油製造業者の羽成卯兵衛(はなり うへい)と真壁町(現桜川市)の猪瀬蔵太郎(いのせ くらたろう)が干拓工事に着手しました。	4
5	筑波流です。石岡市は県内でも特に多くの茅葺き屋根(かやぶきやね)が残っている地域です。	2
6	53.87パーセントです。前回の市議選(平成27年4月26日)の投票率は57.54パーセントでした。	1
7	ふるさと学習サミットです。石岡市では、ふるさと学習として石岡市の文化や歴史を学び、郷土に対する愛着や誇りを育むため、小学1年～中学3年の9年間にわたって実施し、学年毎に学ぶ内容や目標が設定されています。	2
8	ヒメハルセミ(姫春蟬)の姿はカナカナ蟬に似ていますが、体長約2.7センチメートル前後のごく小型で細長い特殊な蟬です。発生時期は6月下旬から7月中旬で、初期に出現する蟬という意味からヒメハルセミ(姫春蟬)と呼ばれています。	2
9	大覚(だいかく)寺の庭園は回遊式庭園の様式で、京都の桂離宮(かつらりききゅう)の庭園を模して造られたといわれています。	3
10	歴史の里いしおか市民講師です。芸術、芸能、教育、趣味、家庭生活、健康・スポーツの6つのジャンルがあります。	1
11	佐久良東雄(さくら あずまお)は、1811年(文化8年)、常陸国新治郡浦須村(ひたちのくににはりぐんうらすむら)(現在の石岡市浦須)に生まれました。東雄は、幕末の国学者、歌人として活躍し、住居は国指定文化財となっています。	4
12	長峰塾(ながみねじゅく)では、教育は誰もが受けるものという思想が反映されており、授業料は徴収せず、経済的に余裕のない家庭であっても教育機会を得ることができました。	2
13	36.3パーセントです。平成29年10月1日現在、石岡市の高齢化率は31.4パーセント、国全体の高齢化率は27.7パーセントになります。	3
14	石岡高校生会(YSC ヤングストロングクラブ)は、市内在住、在学の高校生たちが在籍しています。キャンプやスキー教室など小学生向けの野外活動のリーダーや、選挙啓発キャンペーン、トレイルラン大会、障がい者スポーツ大会などの市内イベントのボランティアを行っています。	2
15	地元では、小判石(こばんいし)とよばれており、お菓子(クッキー)の名前ともなり販売されています。	1
16	弓豚(ゆみぶた)です。2008年(平成20年)に商標登録されています。	4
17	約30ヘクタール(東京ドーム6個分)です。茨城県フラワーパークは、800品種ものバラを見ることができ、バラ以外にも四季折々の花々を鑑賞できる広大な公園です。	4
18	登録文化財になっている「丁子屋」は、江戸時代末期に建てられた染物屋(まち蔵藍)です。1929年(昭和4年)大火で消失を免れた現存する唯一の建物で、大火以前の土蔵も残っています。	2
19	蔵書数は約4万冊です。石岡市立中央図書館の蔵書数は、164,164冊です。	3
20	令和元年度まちづくり出前講座メニューは、市政、くらし、安全・安心、環境、健康・福祉、子育て、経済・産業、都市基盤、教養・教育・文化の9つのジャンルから、全58講座あります。	1
21	オアシス運動として、毎年オアシス作文・標語を市内小中学校、高等学校、一般の方から募集しています。平成30年度は、2,464人の応募がありました。	4
22	生産者が1950年代半ばに宮内庁に柿を納めたのが始まりとされ、現在は市の事業として毎年、富有柿をお届けしています。	2
23	ゆめに羽ばたけ国府の火です。炬火(きよか)はオリンピックの聖火にあたるものです。	3
24	石岡市立中央図書館は、2019年(令和元年)に創立130年を迎えます。	4
25	石岡第一高等学校は、1910年(明治43年)3月15日に設立され、2019年度に創立110年になります。	3